

空を見上げて、雲を見てみよう いろいろな雲を観察しよう



ふわふわしたの、べたっと広がったの、真っ白に輝いているの、黒くて少し不気味なの…。空を見上げると、さまざまな雲を目にすることができます。

雲の形は無限にあります。現在、世界共通の分類は10種類。この講座は、雲の観察や種類分けを参加者の自然現象や気象への興味への入り口にしてもらうことを目的としています。

また、講座の内容を小中学生の夏休みの自由研究に活用できるよう、実験や工作、まとめ方の提案なども織り交ぜています。

講座は大きく分けて3部構成。1部は、小学校3～4年生でも理解できるよう、実験を交えて、パワーポイントのスライドで解説。雲ができるしくみや、雨が降るしくみ、雲の種類を学びます。合わせて、雲の写真を種類に分けて、自由研究にまとめる方法を提案します。

2部は小学5年生以上を対象。さらに発展させて、天気図と雲の関係を学びます。合わせて、雲と天気図を関連させて自由研究にまとめる方法を提案します。

3部は工作。10種類の雲の特徴の理解をより深めるため、カット綿や綿球などを使い、立体図を作成します。時間が足りない場合は、自宅で完成できるよう、材料を持ち帰ってもらいます。

会場周辺の環境によっては、1部と2部の間に、屋外で、実際に雲の観察をすることもあります。

参加者へ配布する印刷資料が数種類あります。カラー印刷の必要な物や、厚手の紙への印刷をお願いするものもあります。事前にデータをお送りしますので、準備にご協力をお願いします。カット綿、綿球、紙代など、工作の材料費が一人200円ほど必要です。材料の準備については、ご相談ください。



雲のでき方、種類などについて、パワーポイントのスライドや動画を見ながら勉強します。



あらかじめ印刷された「十種雲形」図に、綿をはりつけて、雲の質感を再現してみます。